

- 問1 千葉県は工業出荷額の内訳において、全体の20.8%を占める主要な品目があります。この品目の工場は千葉県北西部の海岸線沿いに集中して立地していますが、その品目として正しいものを次から選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 石油・石炭製品 2. パルプ・紙 3. 輸送用機械 4. 繊維
-
- 問2 千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺のお食産が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 砂浜海岸 2. リアス海岸 3. 干拓地 4. フィヨルド
-
- 問3 千葉県の地形や交通について述べた文として、太平洋側に位置する九十九里浜の地形的特徴と、県内の主要な施設の位置関係を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 太平洋側には砂が堆積して形成された単調な砂浜海岸が広がり、その内陸側の下総台地には成田国際空港が位置している。 2. 九十九里浜は、東京湾アクアラインが通過する東京湾側の沿岸部に位置し、大規模な工業地帯を形成している。 3. 九十九里浜は大規模な干拓によって作られた農地であり、成田国際空港から南へ下った房総半島の先端部に位置している。 4. 太平洋側には複雑な入り江を持つリアス海岸が発達しており、その周辺に成田国際空港や千葉港などの大規模施設が集中している。
-
- 問4 茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。 2. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。 3. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。 4. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。
-
- 問5 関東地方に位置し、太平洋側に突き出た半島状の地形を持つある県では、果実の産出額が約854億年に達しています。果実の産出額が多い県には、りんごで有名な青森県やさくらんぼで有名な山形県もありますが、首都圏への供給を主眼に置いた近郊農業が特色であるこの県はどこですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 山形県 2. 千葉県 3. 長野県 4. 青森県
-
- 問6 北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため 2. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため 3. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため 4. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため
-
- 問7 千葉県に位置するこの半島では、江戸時代に九十九里浜などでいわし漁が盛んに行われた。漁獲されたいわしを干して肥料に加工し、各地の綿花栽培などに利用されたが、この半島はどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 能登半島 2. 渥美半島 3. 房総半島 4. 紀伊半島
-
- 問8 東京都港区の統計において、1980年代半ばと現在を比較すると、かつては減少傾向にあった人口が、近年では40歳代前後の層を中心に顕著な増加に転じています。このような人口動態の変化をもたらした、都市中心部での取り組みとして最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 都心部から地方への企業本社の移転促進 2. 過疎地域からの集団移住を促す制度の導入 3. 郊外における大規模なニュータウンの建設 4. 工場の跡地などを活用した大規模な再開発
-
- 問9 茨城県ひたちなか市の阿字ヶ浦駅から観光地に向けて計画されている「交通網の整備」に関する説明として、地域の活性化や利用者の視点から述べたものとして最も適切なものはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 鉄道の延伸によって目的地までのシームレスな移動が可能になり、観光客の増加や地域の利便性の向上が期待されている。 2. 鉄道利用者を減らすためにバスの運賃を大幅に値下げし、公共交通機関同士の競争を促すことでサービスの質を高める。 3. 環境保護のために鉄道の運行本数を半分に減らし、駅から観光地までは徒歩での移動を義務付けることで、健康増進を図る。 4. 新駅の建設を中止し、代わりに駅周辺に巨大な駐車場を整備することで、観光地周辺のすべての交通を自家用車中心に切り替える。
-
- 問10 関東地方北部に位置する内陸県であり、広大な平野部を利用した米作りや、いちごの産出額が非常に多いことで知られる、農業が盛んな県はどこか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 栃木県 2. 群馬県 3. 茨城県 4. 埼玉県
-
- 問11 首都圏の外縁部に位置する茨城県では、近年、人口増減率がマイナス0.59パーセントを記録し、高齢者割合も約30パーセントに達するなど、人口減少が進行しています。このように死亡者数が出生者数を上回ることによって生じる人口の減少を何と言いますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 自然増 2. 社会減 3. 自然減 4. 社会増
-
- 問12 地域調査の資料として、逗子駅から逗子海水浴場までのルートを2万5千分の1地形図で確認したところ、駅と海岸線までの図上の長さが4cmでした。このとき、実際の実測（水平距離）は何メートルになりますか。計算の結果として正しいものを選択しなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 2,500メートル 2. 1,000メートル 3. 100メートル 4. 500メートル
-
- 問13 東京都、埼玉県、茨城県の人口動態をまとめた資料において、埼玉県の「昼夜間人口比率」が100%を下回っている状態を正しく解釈したものはどれか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の多い「社会減」の状態にある。 2. 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を上回っている。 3. その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。 4. 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 石油・石炭製品	千葉県は京葉工業地域の中核を担っており、東京湾沿いの臨海部には大規模な工場が集まっています。特に石油・石炭製品は、海外から輸入された原油を加工するプロセスを伴うため、大型タンカーが直接接岸できる海岸沿いの立地が極めて重要となります。このため、千葉県北西部の臨海部に工場が集中する分布を示します。
問2	答え 1 砂浜海岸	千葉県の九十九里浜は、日本を代表する砂浜海岸の一つです。山地が沈水して複雑な入り江を作るリアス海岸とは異なり、砂が堆積することで平坦で単調な景観が作られるのが特徴です。九十九里浜は背後に広大な平野（九十九里平野）を伴っており、古くから地引網漁なども盛んに行われてきました。
問3	答え 1 太平洋側には砂が堆積して形成された単調な砂浜海岸が広がり、その内陸側の下総台地には成田国際空港が位置している。	千葉県の東側である太平洋沿岸には、砂が堆積してできた九十九里浜（砂浜海岸）が広がっています。その北西方向の内陸にあたる下総台地には成田国際空港が建設されました。東京湾側は、京葉工業地域などの埋め立て地や東京湾アクアラインが位置するエリアであり、九十九里浜のある太平洋側とは地形的・産業的な特徴が異なります。
問4	答え 1 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	統計データを見ると、茨城県は他の3県と比較して山地が少なく平坦な土地が多いため、大規模な農業が可能です。その結果、野菜の産出額は4県の中で突出して高く、近郊農業の強みが表れています。同時に、製造品出荷額も11兆円を超える規模であり、農業と工業がバランスよく、かつ高いレベルで発展していることが読み取れます。山梨県や静岡県は果実の産出額に強みがありますが、野菜の産出額や土地の平坦さでは茨城県が上回ります。
問5	答え 2 千葉県	果実の産出額が高い県として青森県や山形県、長野県が知られていますが、これらは冷涼な気候を活かした果樹栽培が中心です。一方、千葉県は関東平野の一部であり、東京都に隣接する立地を活かして野菜と果実の両方で高い産出額を維持しているのが大きな特徴です。
問6	答え 3 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため	北関東工業地域は、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路が整備されたことで、部品や製品の配送が容易になりました。沿岸部に比べて安価で広い工場用地を確保しやすいため、多くの組み立て工場が進出し、機械工業が集積する内陸型の工業地域として発展しました。一方、港湾施設を前提とした重化学工業は、京葉工業地域や鹿島臨海工業地域の特色です。
問7	答え 3 房総半島	この地域では地引き網による漁業が発展し、干鰯（ほしか）と呼ばれる肥料（金肥）が多く生産された。これは商品作物の栽培を支える重要な肥料として、西日本を含めた全国へ流通した。
問8	答え 4 工場の跡地などを活用した大規模な再開発	東京都心部では、以前は工場や倉庫として利用されていた土地が、再開発によって大規模な集合住宅（タワーマンションなど）へと生まれ変わりました。これにより、職場に近い環境を求める子育て世代などの人口流入が加速し、特定の年齢層の割合が高まる結果となりました。
問9	答え 1 鉄道の延伸によって目的地までのシームレスな移動が可能になり、観光客の増加や地域の利便性の向上が期待されている。	交通網の整備において、既存の鉄道をさらに目的地（観光地）の近くまで伸ばす「鉄道の延伸」は、乗り換えの手間を省く重要な施策です。これにより、高齢者や大きな荷物を持つ観光客も利用しやすくなるという利便性の向上が得られます。また、交通の接続がスムーズになる（シームレス化）ことで、地域全体の観光振興や活性化につながるという背景があります。他の選択肢は、公共交通の利便性を下げるものであり、現代の地域交通政策の方向性と矛盾します。
問10	答え 1 栃木県	関東地方には3つの内陸県（栃木県、群馬県、埼玉県）がありますが、そのうち北東部に位置し、米の生産やいちごの産出額で全国トップクラスの規模を誇るのが栃木県です。茨城県は関東地方北部に位置しますが、海に面しているため内陸県ではありません。群馬県も内陸県ですが、高原野菜や養蚕などの歴史的背景で区別されます。
問11	答え 3 自然減	茨城県では、出生者数よりも死亡者数が多い状態である「自然減」が人口減少の主な要因となっています。進学や就職による転出・転入の差を指す「社会増減」に対し、出生・死亡の差を「自然増減」と呼び、現在の日本各地でこの自然減による人口減少が課題となっています。
問12	答え 2 1,000メートル	2万5千分の1地形図において、実際の距離は図上の長さを25,000倍することで求められます。4cm × 25,000 = 100,000cmとなり、これをメートルに換算すると1,000m（1km）となります。地形図の読解においては、縮尺を利用した距離の算出が重要です。
問13	答え 3 その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口を100とした場合の昼間人口の割合を示します。数値が100を下回るということは、昼間にその地域にいる人口が、夜間に住んでいる人口よりも少ないことを意味します。これは、住宅地としての機能が強く、仕事や学びの場が県外（主に東京都）にある人が多いことを裏付けています。